

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
1	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	洛西地域におけるバス利便性の向上	洛西地域を運行するバス・鉄道事業者の連携により、複数事業者のバスダイヤ、系統、乗場、案内表示の一元的な見直しを図り、地域の公共交通の利便性を向上させ、他地域の事業者の連携モデルとします。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○実施 ○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○京都市域における鉄道・バスの利便性を向上するため、洛西地域での取組をベール上、複数の交通事業者が結節する駅(四条大宮、出町柳)において乗換案内等の充実を実施	6,800(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 6,716(0)	5,400(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 5,051(0)	4,900(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)
2	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	京都駅南口駅前広場の整備	京都市内最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場を、「使いやすい」「やさしい」「美しく」「おもてなし」「賑わい」を実現できる駅前広場としてリニューアルします。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○検討 ○各施設の規模、形状の検討 ○交通量調査(5月) ○路線測量(2月)	26,500(0) 26,177(0)	103,000(55,660) 7,034(0)	262,080(131,351) 【内、繰越分94,580】	1,404,100(756,100)
3	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	市内共通乗車券の創設	鉄道・バス事業者のネットワークを最大限に生かし、市内の電車・バスが乗り降り自由となる、使い勝手の良い乗車券(京都フリーバス)を創設します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○京都フリーバスの創設 ○平成22年12月に創設した「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーバス」の利用範囲、発売箇所、特典施設拡大に向けた検討	6,800(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 6,716(0)	5,400(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 5,051(0)	4,900(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当) 8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	8,239(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
4	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	駅などのバリアフリー化の推進	高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが公共交通を利用して円滑に移動できるユニバーサル社会の実現を目指して、駅などの旅客施設及びその周辺の道路などのバリアフリー化を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○駅などのバリアフリー化の推進 ○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(3月) ○阪急電鉄洛西口駅高架駅設置工事に伴う事前意見聴取	平成23(2011) 363(0) 103(0)	平成24(2012) ○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(8,12,3月) ○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(10,3月) ※10月:阪急電鉄洛西口駅高架駅設置に伴う事後検証	平成25(2013) 583(0) 253(0)	平成26(2014) 583(0)
						イ進捗状況	○太秦地区及び大宮地区において「基本構想」を策定 ○24年度に「移動等円滑化基本構想」を策定する「重点整備地区」として、太秦地区及び大宮地区を選定(4月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(7月,10月,11月,2月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(案)」に対するパブリックコメントの実施(11月26日～12月25日) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(8月,10月,11月,2月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(案)」に対するパブリックコメントの実施(11月21日～12月20日) ○「JR藤森・深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月)	17,800(0) 16,178(0)	46,800(0)	157,693(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
5	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	パークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施	市内中心部及び観光地への自動車流入の抑制を図るため、近隣自治体との連携によるパークアンドライドを広域的に展開するとともに、観光シーズンを中心に、京都府警などと連携し、嵐山地区及び東山地区における臨時交通対策を含めた交通対策を実施することにより、歩行者の安全・快適性の確保と交通の円滑化を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○パークアンドライドの通年実施(4月) ○京うちらパークアンドライドの実施(12月) ○ハッピー・パークアンドライドの実施(12月) ○京都府都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月) ○嵐山地区、東山地区交通対策研究会の開催(11月、3月) ○観光地交通対策の実施	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区、東山地区交通対策研究会の開催(8月) ○京都府都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月)	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区、東山地区交通対策研究会の開催(8月) ○東山地区交通対策研究会の開催(9月) ○観光地交通対策の実施	21,600(0)(「観光地等交通対策(歩いてこそ京都)」の「観光地等交通対策」のうち「歩行者」の取組)
6	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	公共交通不便地域の対面策に関する検討	モデル地域において、地域住民、交通事業者、行政が連携を図りながら、ワーキンググループを設置し、アンケート調査などを通して、生活交通の維持に向けた仕組みづくりなど、公共交通不便地域のあり方を検討します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○対面策の実施 ○雲ヶ畑自治振興会が運営主体となった新たな生活交通「雲ヶ畑バス」の導入(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンツーリズム推進協議会」によるモニターツアーを実施(8月、9月、10月、11月、12月/計7回)	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○対面策の実施 ○雲ヶ畑自治振興会が運営主体となった新たな生活交通「雲ヶ畑バス」の導入(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンツーリズム推進協議会」によるモニターツアーを実施(8月、9月、10月、11月、12月/計8回)	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの確保 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○対面策の実施 ○雲ヶ畑自治振興会が運営主体となった新たな生活交通「雲ヶ畑バス」の導入(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンツーリズム推進協議会」によるモニターツアーを実施(7月、9月、10月、11月、12月/計8回)	21,600(0)(「観光地等交通対策(歩いてこそ京都)」の「観光地等交通対策」のうち「歩行者」の取組)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
7	1. 「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	交通情報通信システムの開発	バス車内における目的地到着予定時刻案内、乗継ぎ案内などの交通情報や目的地周辺の最新の観光情報を提供し、利便性を向上させるシステムを開発します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
8	2. 「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	車大路通の自動車抑制と歩道拡幅	多くの市民、観光客が訪れる車大路通などにおいて、歩行空間の拡大と交通安全性の向上及び自動車交通の抑制を図ります。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
9	2. 「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	四条通の歩道拡幅と公共交通優先化	市内最大の繁華街である四条通を中心とする都心地域において、歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図ります。	□実施済み又は本格実施中 ■実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円
10	2. 「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	未来の公共交通の充実	新しい公共交通システム(LRT、BR、T)の導入検討	高い速達性と定時性、需要に合わせた輸送力を併せ持つLRT(次世代路面電車)やBRT(バス高速輸送システム)などの新しい公共交通システムの実現に向け検討します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円





京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
19	3. 「ライifestails」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしようとするライifestailsへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	広報媒体などを活用したモバイル・マホシメント	クルマ利用者に対して、ウェブサイトに広報媒体などを活用した啓蒙やアンケートなどのコミュニケーション手段を通じ、自発的な交通行動の姿を促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○実施 ○市民しんぶん区版(8月15日号)での取り組み活用 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(「笑って鼻のほのか」ラジオ番組内)に「歩くまち、京都」コーナーを設置(9月5日～12月2日、月曜～金曜) ○観光ガイドブック(るるぶ京都、まっぶる京都)への掲載	○見直し・充実 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月4日～3月29日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月6日～2月16日、土曜) ○αステーションを活用した情報発信(スポット告知、ペイドナビシティ告知) ○観光ガイドブック(るるぶ京都、まっぶる京都)への掲載	○見直し・充実 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月3日～3月28日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月5日～2月22日、土曜) ○観光ガイドブック(るるぶ京都、まっぶる京都)への掲載	○見直し・充実 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月4日～3月29日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月6日～2月16日、土曜) ○αステーションを活用した情報発信(スポット告知、ペイドナビシティ告知) ○観光ガイドブック(るるぶ京都、まっぶる京都)への掲載	26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モバイル・マホシメント推進)の一部を充当〕	
20	3. 「ライifestails」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしようとするライifestailsへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「市民」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	市民を対象に、「家庭」「学校」「職場」などあらゆる機会を通じて、公共交通情報マップの配布やアンケート、環境学習の一層の推進、エコ通の推進などを実施し、交通行動スタイルの見直しを促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○実施 ○「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)の実施(対象数:20,135人) ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型モバイル・マホシメントの実施(3事業)	○見直し・充実 ○自動車運転免許更新MM(4月～)月) ○学校MM(検討会 4回:7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM(21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～)月) ○学校MM(検討会 4回:7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM(21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～)月) ○学校MM(検討会 4回:7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM(21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	27,100(13,805)〔「スローライフ京都」大作戦(モバイル・マホシメント推進)の一部を充当〕	
21	3. 「ライifestails」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にしようとするライifestailsへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「観光客」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	京都市への観光客を対象に、クルマを使わない観光の優位性を伝えることにより、公共交通を利用した観光を呼びかけます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○実施 ○「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)の実施(10月～11月、3月～5月)	○見直し・充実 ○「公共交通機関でおしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	○見直し・充実 ○「公共交通機関でおしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	○見直し・充実 ○「公共交通機関でおしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	○「公共交通機関でおしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	26,331(13,350)〔「スローライフ京都」大作戦(モバイル・マホシメント推進)の一部を充当〕

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
22	4. エコカーへの転換	インフラ整備の推進	共同住宅、民間駐車場、商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に関するインセンティブの付与の検討	民間事業者などによる充電設備や水素ステーションの設置に対してインセンティブを与える制度の創設や、新築建築物への充電設備の導入を進める仕組みを検討し、エコカーの普及に向けたインフラ整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○検討 ○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○対応策の実施 ○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備設置補助制度の創設	2,000(0) 2,000(0)
23	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	特定事業者への導入義務化	条例に基づき特定事業者に対して、事業用の自動車を購入(リースを含む)する際に、一定割合以上をエコカーとすることを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○実施 ○義務制度の開始 計画期間中(H23～25年度)に取得する新車の総台数に対するエコカーの割合を50%以上とすることを義務付け、エコカーの普及の促進	○平成23年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約64%がエコカー)	○平成24年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約78%がエコカー)	7,700(0) 7,700(0) 7404(0)
24	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	自動車販売店に対するエコカー販売実績報告の義務化	自動車販売事業者に対して、エコカーの販売実績を報告することを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○制度開始 顧客への新車販売時に自動車環境情報・顧客への新車販売実績報告書の受理 報の説明、エコカー販売促進及び、新車販売実績報告書の提出	○平成23年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万1千台)	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約5万2千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)	7,300(0) 7,300(0) 10,000(0)
25	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	次世代EV(電動)バスの実証実験などを踏まえたEVバスの実用化を進めるとともに、環境にやさしいハイブリッドバスなどの低公害車の導入を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○検討(EVバスの実証実験) (EVバスの実証実験) ○途中充電のための停車に伴う乗客の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行うための、EVバス運行に関する実証実験を実施。	○導入(EVバスの実用化の検証) ○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討	○ハイブリッドバス10両導入 ○アイドリングストップバス27両導入	1,26,031(98,069) 868,861(44,391)



京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
26	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	特定建築物への地域産木材の利用義務化	条例に基づく特定建築物(延床面積2,000m <sup>2</sup> 以上の新増築建築物)の建築主に対し、地域産木材の利用を義務付けます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国、千円) 0 エ決算額(うち国、千円) 0	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○特定建築物の建築主に対し、地域産木材の利用義務化、届出の受付開始(4月～)	○市営住宅建設の建築主に対して、地域産木材の活用を開始(4月～)	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進	
27	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	公共施設への地域産木材の率先利用	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、地域産木材を積極的に利用します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国、千円) 0 エ決算額(うち国、千円) 0	○市営住宅建設の基本計画の策定において、地域産材活用を推進 設計費・工事費:18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、地域産材活用を推進 設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進 設計・工事費:305,932(135,442)の一部 工事費:979,594(520,423)の一部	○小学校3校で暖房として利用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	
28	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「CASBEE京都」による環境性能の高い建築物の普及促進	京都らしい環境配慮建築物を適切に評価、誘導するため「CASBEE京都」の表示を推奨(延床面積2,000m <sup>2</sup> 以上の特定建築物は義務化)し、環境性能の高い建築物の普及を図ります。さらに、既存建築物の評価システムでの整備を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国、千円) 3,000(0) エ決算額(うち国、千円) 2,993(0)	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査(4月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定業務、CASBEE京都の普及啓発にかかる検討(6月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定完了(3月)	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都(既存、改修)の運用、届出書類の審査(6月～) ○「京(みやこ)環境配慮建築物」顕彰制度を創設	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都(既存、改修)の運用、届出書類の審査 ○「京(みやこ)環境配慮建築物」顕彰制度を創設	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都(既存、改修)の運用、届出書類の審査 ○「京(みやこ)環境配慮建築物」顕彰制度を創設	
29	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	低炭素景観の保全・創出	歴史まちづくりの推進、京町家などの保全・再生・活用を促進するための情報発信の仕組みなど様々な保全・活用策を講じることにより、既存建築物の特性を活用するとともに、地域の個性に合わせたきめ細かなデザイン規制や時代をリードする質の高いデザインの誘導など、長く親しまれる建築物による市街地景観の形成を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国、千円) 129,320(47,290) エ決算額(うち国、千円) 122,889(47,290)	○市民とともに創造する景観づくりに関する仕組みの整備やデザイン基準の更なる充実、遠景デザイン保全区域の見直しなど、更に進化した景観政策を施行(4月) ○景観重要建築物及び歴史的風致形成建築物の指定:17件(24年3月未現在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る補助:66件(24年3月未現在)	○姉小路界隈の街なみ環境整備事業に沿って、通り景観改善事業を行うとともに、まちづくりの一層の推進のため、協議会に対し活動助成を行う。 ○伝統的建造物群保存地区において、保存・再生に係る修理、修景について指導するとともに経費の一部を補助 ○歴史的な町並みの保全・再生を図るため、景観重要建築物や歴史的風致形成建築物等の修理、修景に係る経費の一部を補助及び景観重要建築物の風致形成建築物の指定。	○姉小路界隈の街なみ環境整備事業に沿って、通り景観改善事業を行うとともに、まちづくりの一層の推進のため、協議会に対し活動助成を行う。 ○伝統的建造物群保存地区において、保存・再生に係る修理、修景について指導するとともに経費の一部を補助 ○歴史的な町並みの保全・再生を図るため、景観重要建築物や歴史的風致形成建築物等の修理、修景に係る経費の一部を補助及び景観重要建築物の風致形成建築物の指定。	○姉小路界隈の街なみ環境整備事業に沿って、通り景観改善事業を行うとともに、まちづくりの一層の推進のため、協議会に対し活動助成を行う。 ○伝統的建造物群保存地区において、保存・再生に係る修理、修景について指導するとともに経費の一部を補助 ○歴史的な町並みの保全・再生を図るため、景観重要建築物や歴史的風致形成建築物等の修理、修景に係る経費の一部を補助及び景観重要建築物の風致形成建築物の指定。	125,003(47,300) 126,850(50,214)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまらち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)		
30	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「平成の京町家」の普及促進	伝統的な京町家の知恵と現代的な環境技術が融合した京都型環境配慮住宅である「平成の京町家」の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○平成の京町家普及促進事業	○本格実施	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「K YOMO」の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの運営(3月)	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「K YOMO」の運営 ○平成の京町家普及センターの運営	22,410(7,200)	
						イ進捗状況	18,000(4,500) 7,438(90)	37,300(6,750) 22,197(225)	24,825(4,500)			
31	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど利用	木質ペレットストーブ・ボイラー・吸収式冷水温水器の普及促進	木質ペレットを燃料とするストーブ・ボイラー、吸収式冷水温水器を普及推進するため、導入支援策を実施します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○木質ペレットストーブ等普及促進事業	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～)	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～)	○木質ペレットストーブ58台、木質ペレットボイラー4台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～)	30,000(0)
						イ進捗状況	19,000(19,000) 21,617(6,784)	35,000(0) 32,388(0)	35,000(0) 32,388(0)	35,000(0)	30,000(0)	
32	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど利用	木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	京都市及び関係機関において、木質ペレット及び地域産木材を使った物品を積極的にご利用します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定	0
						イ進捗状況	1,276(0) 1,132(0)	0 0	0 0	0 0	0	
33	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなど利用	間伐材の供給に対する助成	木質ペレット原料用の間伐材の供給に対する助成制度を創設し、間伐材の需要拡大と森林の適切な整備を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など	○ペレット炊き吸気式冷水温水器(35.3kW×1基)の設置	○ペレット炊き吸気式冷水温水器(冷凍能力105kW、加熱能力83.4kW)1基及びペレットボイラー(定格出力349kW)1基の設置	○ペレット炊き吸気式冷水温水器(冷凍能力105kW、加熱能力83.4kW)1基及びペレットボイラー(定格出力349kW)1基の設置	○ペレット炊き吸気式冷水温水器(冷凍能力105kW、加熱能力83.4kW)1基及びペレットボイラー(定格出力349kW)1基の設置	0
						イ進捗状況	5,000(0) 2,000(0)	5,000(0) 2,200(0)	5,000(0) 2,200(0)	5,000(0) 2,200(0)	4,200(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまらち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
34	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	地域産木材ストック情報システムの整備	京都市地域産木材の利用促進を図るために、木材業界と連携し、工務店が必要とする木材について、供給状況が分かるストック情報システムを構築します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○検討 ○地域産材普及供給体制整備事業 イ進捗状況	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(3回)	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム」の運用(No.32再掲) ○京都市木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)(No.32再掲)	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム」の運用(No.32再掲) ○京都市木材利用基本方針策定(No.32再掲)	1,600(0)
35	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	ウッドマレーンなどの評価	木材の産地から消費地までの輸送距離から算出される木材輸送に伴う二酸化炭素排出量(ウッドマイルージ)を評価します。さらに木質ペレットを含め、木材の生産から流通消費までを市民に見える形で評価し、情報発信する方法を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○検討 ○実施	○京都市地域産材「みやこ杣木」の認証マークを明示して利用を推奨する「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	○CASBEE京都の評価においてウッドマレーンCO <sub>2</sub> に関する評価を実施 ○「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	○CASBEE京都の評価においてウッドマレーンCO <sub>2</sub> に関する評価を実施 ○「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	2,000(0) 1,702(0)
36	2. 森林の適切な保全	森林整備	健全で多様な森林の育成	森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や放置された森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐期林、複層林、広葉樹林など多様な森林の整備を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～：間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林バイオマス活用推進事業：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～：間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林バイオマス活用推進事業：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	61,800(0) 56,351(0)
37	2. 森林の適切な保全	森林整備	三山森林景観保全・再生 三山森林景観再生の推進	三山の森林景観を保全・再生するためのガイドラインに基づき、市民や事業者との協働による森林景観づくりを推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」の策定(5月) ○シンポジウム「三山」におけるこれからの森林景観づくりの開催(11月)	○小倉山の森づくりを考える勉強会の開催(5月) ○小倉山森林再生事業に係る関係者会議の開催(9月) ○京都市森づくりアドバイザー制度を創設(11月) ○第2回シンポジウム「三山」におけるこれからの森林景観づくりの開催(12月) ○小倉山の森林再生に向けた意見交換会」の開催(11月・2月・3月)	○小倉山の森林再生に向けた事業計画」策定(4月) ○「小倉山再生プロジェクト支援協定」締結(5月) ○第3回シンポジウム「三山」におけるこれからの森林景観づくりの開催(11月) ○「小倉山再生プロジェクト支援協定」に基づく森づくり活動(3月)	11,000(5,000) 9,028(4,236)
38	2. 森林の適切な保全	森林整備	森林整備の担い手となる人材の育成・確保	林業労働者の社会保険制度や技術研修制度の充実、森林組合などにおける森林整備班の養成を行うことにより、林業の担い手を確保し、森林整備に必要な体制の整備を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保険制度への加入助成)の実施	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保険制度への加入助成)の実施	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保険制度への加入助成)の実施	13,085(0) 12,196(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にすまらち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
39	2. 森林の適切な保全	林業の振興	施業集約化の推進	地域産材を安定供給できる体制づくりを目指して、伐採、造林、保育を一体的、計画的、効果的に行う施業の集約化を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	89,972(0) 79,904(0)	92,201(0) 81,727(0)	92,112(0)	112,153(0)
40	2. 森林の適切な保全	林業の振興	林業経営の効率化と低コスト化の推進	林業の生産性を高め、経営の効率化を図るため、密度の高い林内路網の整備と、地形・立地に適した高性能林業機械の導入を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	89,972(0)(再掲) 79,904(0)(再掲)	100,201(0) 90,237(0) ※うち592,201は再掲	96,737(0) ※92,112(0)(再掲)	112,153(0) ※112,153(0)(再掲)
41	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	森づくりサポートの充実	市街地周辺三山などの里山や京北合併記念の森を中心に、市民などの参画による森林の保全・整備などの活動を展開します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	930(0) 930(0)	3,000(0) 3,000(0)	2,700(0)	2,700(0)
42	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	市民・事業者・大学参画による生態系保全型の森づくりシステムを構築し、豊かな農林資源を活用した環境学習などに活用する森林整備を行い、そのシステムを民有林全体に推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	0 0	500(0) 500(0)	500(0)	500(0)
43	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	特定緑化建築物への緑化義務化	条例に基づき特定緑化建築物(敷地面積1,000㎡以上の新築・改築建築物)について、建築物及び敷地の緑化を義務付けることにより、市街地の緑化を推進します。	□企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	0 0	0 0	0 0	0 0

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
44	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	公共施設の緑化の推進	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、緑化を積極的に推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○市営住宅建設の基本計画の策定において、緑化を推進	○市営住宅建設において、緑化を推進		
						設計費：18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越：9,900(6,600)	設計費・工事費：154,669(99,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越：114,648(48,393)	設計・工事費：305,932(135,442)の一部 工事費：979,594(520,423)の一部		
45	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	屋上緑化・壁面緑化に対する助成の充実	住宅や事業所などの民有地における緑化に対して助成することにより、民有地緑化の推進を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○京のまちなか緑化助成事業 ○屋上緑化：3件、30㎡、助成237千円 ○壁面緑化：2件、37㎡、助成185千円 ○地上緑化：16件、236㎡、助成999千円	○屋上緑化：3件、55㎡、助成550千円 ○壁面緑化：2件、16㎡、助成80千円 ○地上緑化：11件、160㎡、助成706千円 ※壁面緑化のうち1件は、地上緑化も実施(件数に含まず)	地上、壁面緑化に「間口緑視率」を導入し、助成上限額の優遇を実施 ○屋上緑化：1件、22㎡、助成：220千円 ○壁面緑化：0件 ○地上緑化：12件、127㎡、助成額：1,191千円	4,920(0) 4,790(0)
						6,000(0) 1,720(0)	5,760(0) 1,887(0)	5,760(0) 1,887(0)	4,920(0) 4,790(0)	
46	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	市民などとの協働による民有地緑化の推進	緑が少なく、緑化余地も少ない中心市街地において、緑化を義務化する。ことにより、民有地緑化の推進を図ります。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○検討 検討中	○中心市街地における民有地緑化の推進について、他都市の状況の確認や、多制度との整合等の検討を実施	○中心市街地における民有地緑化の推進について、他都市の状況の確認や、多制度との整合等の検討を実施	
						7,010(0) 2,479(0)	10,500(0) 1,750(0)	7,000(0) 7,000(0)	7,000(0) 7,000(0)	
47	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	市民農園の整備などによる農地の有効活用	地域主導の市民農園モデルとなる総合体験型市民農園を整備し、市民が参加できる環境にやさしい都市型農業を振興します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○総合体験型市民農園付帯設備(クラブハウス、パイオトル等)の設置(6月～9月) ○総合体験型市民農園開園(9月) ○入園者募集説明会(3月)	○総合体験型市民農園の継続運営(4月～) ○各種農業イベント実施	○総合体験型市民農園の継続運営(4月～) ○各種農業イベント実施	7,000(0) 7,000(0)
						7,010(0) 2,479(0)	10,500(0) 1,750(0)	7,000(0) 7,000(0)	7,000(0) 7,000(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
48	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水と緑のネットワークづくり	市街地周辺の山々や農地の緑、中心市街地における街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の軸を骨格とした水と緑のネットワークを形成します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○「道路の森づくり」御池通(天神川～西大路通)：ケヤキ49本、サルスベリ4本(1.4 km)植栽 ○「鳥丸通・緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」鳥丸通(丸太町～御池通)：ケヤキ35本、サルスベリ11本植栽(0.7 km)植栽	16,000(0) 14,210(0)	34,000(0) 21,580(0)	216,000(22,280) 232,200(0)
49									
50	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水を活用した取組の推進	水の気化熱を利用して周辺の気温を下げる「打ち水」の実施拡大や、「ミスト装置」の普及促進に取り組み、ヒートアイランド現象の緩和につなげます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ○京都駅にて「DO YOU KYOTO?」プロジェクト「打ち水」(7月)	計画 ○実施 ○水道創設100周年・公共交通100周年を迎えた向企業との共同記念事業として、ドライ型ミスト装置を多くの市民や観光客の皆様が利用できる京都駅前市バスの別ばに設置(7月～9月)「京(みやこ)の駅ミスト」	08月1日の「水の日」に合わせて市民しんぶん啓発(8月)	○啓発実施
						計画 イ進捗状況 ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター、支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2011実施(8月) ○可動式のドライ型ミスト装置2台を、通常は動物園に設置し(5月7日～10月2日)、イベント時には会場に移設(10箇所) ○100箇所の保育所、幼稚園及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモーター設置(7月1日～9月30日)	7,000(0) 6613(0)	7,000(0) 6,054(0)	7,000(0) 7,000(0)
						計画 ○実施 ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター、支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2012実施(8月1日水の日に合わせて) ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター、支所9営業所にて(門掃き時)雨水貯留タンク(雨水)及び高度処理水にて随時実施。(8月中)	7,000(0) 7,000(0)	7,000(0)	7,000(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
51	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	<p>「DO YOU KYOTO? クレジット」制度の創設</p> <p>DO YOU KYOTO? クレジット(仮称)制度の創設</p>	<p>国内クレジット制度やオフセット・クレジット制度などの国の制度の活用に加え、地域コミュニティや中小事業者が取り組むことや京都独自のクレジット制度を創設し、温室効果ガス削減量という環境価値を「見える化」し、経済的に評価することにより、地域で循環・流通させる仕組みを構築します。</p>	<p>■実施済み又は本格実施中</p> <p>□実施前最終段階</p> <p>□企画構想段階</p> <p>□着手前</p>	<p>計画</p> <p>イ進捗状況</p> <p>ウ予算額(うち国)千円 14,200(0)</p> <p>エ決算額(うち国)千円 4,688(0)</p>	<p>○実施</p> <p>○「DO YOU KYOTO? クレジット」制度の創設(8月)</p> <p>○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集開始とプロジェクト登録を実施(8月～3月)</p> <p>○クレジット認証を実施し、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月)</p>	<p>○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集とプロジェクト登録を実施(4月～)</p> <p>○クレジット認証を実施、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月)</p> <p>○DO YOU KYOTO? クレジットの活用促進協議会を立ち上げ、クレジットの創出・活用促進の取組について検討・実施</p>	<p>17,710(0)</p> <p>6000(0)</p>		
52	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	<p>特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化</p>	<p>条例に基づき、特定建築物の建築主に対し、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化します。</p>	<p>■実施済み又は本格実施中</p> <p>□実施前最終段階</p> <p>□企画構想段階</p> <p>□着手前</p>	<p>計画</p> <p>イ進捗状況</p> <p>ウ予算額(うち国)千円 0</p> <p>エ決算額(うち国)千円 0</p>	<p>○実施</p> <p>○特定建築物の建築主に対し、再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化(4月～)</p> <p>○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月)</p>	<p>○特定建築物の建築主に対する再生可能エネルギー利用設備の設置義務に係る届出の受付(平成25年度の再生可能エネルギー利用量 約511万kWh)</p>	<p>0</p> <p>0</p>		
53	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	<p>事業者排出量削減計画における評価</p>	<p>条例に基づき、特定事業者が効果ガス排出削減のための計画・報告書を市に提出する制度において、再生可能エネルギーの利用を評価します。</p>	<p>■実施済み又は本格実施中</p> <p>□実施前最終段階</p> <p>□企画構想段階</p> <p>□着手前</p>	<p>計画</p> <p>イ進捗状況</p> <p>ウ予算額(うち国)千円 7,500(0)</p> <p>エ決算額(うち国)千円 5,803(0)</p>	<p>○実施</p> <p>○事業者排出量削減計画制度の開始</p>	<p>○平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理</p>	<p>7,300(0)</p> <p>10,000</p> <p>事業者排出量削減計画書</p>		
54	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	<p>太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助などの実施</p>	<p>太陽光発電設備などを設置する市民に対し、補助や融資を行います。</p>	<p>■実施済み又は本格実施中</p> <p>□実施前最終段階</p> <p>□企画構想段階</p> <p>□着手前</p>	<p>計画</p> <p>イ進捗状況</p> <p>ウ予算額(うち国)千円 211,100(0)</p> <p>エ決算額(うち国)千円 100,000(0)</p>	<p>○補助(太陽光発電設備)</p> <p>○助成の実施</p> <p>・申請件数: 単年度1,571件 (累計3,877件)</p> <p>・設置件出力: 単年度6,202kW (累計14,026kW)</p>	<p>○助成の実施</p> <p>・申請件数: 単年度1,780件 (累計5,657件)</p> <p>・蓄電: 単年度48件</p> <p>・太陽熱: 単年度12件</p> <p>・設置出力: 単年度7,269kW (累計21,297kW)</p>	<p>201,100(0)</p> <p>148,933(0)</p>	<p>278,600(0)</p>	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
55	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	市民協働発電制度の実施	市民など協働で太陽光発電設備を設置する仕組みを構築します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討	○市民協働発電制度運営主体の決定(第1期(9月):5施設(うち、1施設は後に辞退)、第2期(12月):2施設) ○出資者の募集(2~3月) ○発電所の稼働(3月):4施設 ○太陽光発電電屋根拠し制度運営主体の決定(第1期(12月):20施設、第2期(2~3月):2施設) ○発電所の稼働(3月):3施設	
						イ進捗状況	○京のアジェンダ21プログラムにおいて課題を検討 ○京都市市民協働発電制度検討委員会の開催、検討報告書の受領 ○運営主体の決定 ○運営主体が出資者の募集を実施 ○第1号(公共施設3箇所)の稼働	5,800(0) 5,351(0)	3,800(0)
56	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	新築住宅への再生可能エネルギーの導入義務化の検討	新築住宅に対して、再生可能エネルギーの導入を義務付けることを検討します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討	
						イ進捗状況	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討		
57	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	公共建築物への再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)の率先導入	京都市が整備する公共建築物において、再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)を積極的に導入します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 ○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、再生可能エネルギー導入を推進	○京都市公共建築物低炭素仕様に基いて、再生可能エネルギーの導入を推進	○市営住宅建設において、再生可能エネルギー導入を推進 設計・工事費:305,932(135,442)の一部 工事費:979,594(520,423)の一部
						イ進捗状況	○京都市公共建築物低炭素仕様に基いて、再生可能エネルギーの導入を推進 設計費:18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600) 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、再生可能エネルギー導入を推進 設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	
						計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備		
						イ進捗状況	○公共施設3施設に太陽光発電約95kW導入(市民協働発電) ○水垂理処理処分場へメガソーラー発電所(2,100kW×2基)を誘致	○市民協働発電制度(5施設約218kW)、屋根貸し制度(3件約60kW)などを中心に公共施設18施設への太陽光発電約387kW導入	





京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
61	1. 再生可能エネルギー導入拡大	公共部門における活用	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	下水汚泥からメタンガスを取り出し、燃料としての有効利用を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○利用方法等の検討 ○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ○下水汚泥から発生する脱水ケーキを東部クリーンセンターで混焼し、こみ発電に利用 ・計画利用量(約119%) (メタンガス: 2,646,050 Nm <sup>3</sup> (2,755ds-t) 約8%, 脱水ケーキ: 5,664t (3,568ds-t) 約11%) ※ 計画年間汚泥量 約33,377ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ・利用量(約8.6%) (メタンガス: 2,400,090Nm <sup>3</sup> (2,665ds-t)) ※ 年間汚泥量 約31,028ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ・利用量(約18.4%) (メタンガス: 2,063,030Nm <sup>3</sup> (2,1613ds-t) 約8.0%, 脱水ケーキ: 5,072t (3,398ds-t) 約10.4%) ※ 年間汚泥量 約32,636ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ・利用量(約8.6%) (メタンガス: 2,400,090Nm <sup>3</sup> (2,665ds-t)) ※ 年間汚泥量 約31,028ds-t	0 0 0	
62	2. 地域におけるエネルギーゲームメント	スマート・コミュニティの構築	四崎地域等における新たなエネルギー・マネージメントシステムの構築	情報通信技術を活用して再生可能エネルギーを地域内で融通し合うスマートグリッドの構築に加え、交通の最適化や地域ぐるみのエコ行動の促進を含めたスマート・コミュニティの研究を行い、実証を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○検討 ○「スマートシティ京都研究会」の開催(3回: 6月、8月、3月) ○岡崎地域、らんなん進部、職住共存地域分科会の開催(10回: 岡崎3回、らんなん進部3回、職住共存4回) ○「スマートコミュニティ構想普及支援事業(経済産業省)へ公募提案書提出(8月)事業選定(10月) ○「スマートシティ京都プロジェクト」マップ案作成(3月)	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月、3月) ○動物園へのBEMSの導入 ○国際交流協会館への太陽光発電設置 ○女世代環境配慮型住宅の着工	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月、3月) ○動物園へのBEMSの導入 ○国際交流協会館への太陽光発電設置 ○女世代環境配慮型住宅の着工	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月、3月) ○動物園へのBEMSの導入 ○国際交流協会館への太陽光発電設置 ○女世代環境配慮型住宅の着工	11,500(0) 9,942(0)	75,000(15,000) 75,800(15,000)
63	2. 地域におけるエネルギーゲームメント	スマート・コミュニティの構築	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	新たな都市計画マスタープランを策定し、地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的、かつ秩序ある土地利用の展開や地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図り、様々な都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○計画 ○平成24年2月22日新たな「京都市都市計画マスタープラン」策定	○都市計画マスタープラン策定、推進 ○公共交通拠点周辺における土地利用に関する調査	○都市計画マスタープランの推進 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(6月、9月、11月、12月、1月、3月) ○「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方(案)」について「J」に対するパブリックコメントの実施 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方」(提言)の提出	○都市計画マスタープランの推進 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(6月、9月、11月、12月、1月、3月) ○「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方(案)」について「J」に対するパブリックコメントの実施 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方」(提言)の提出	10,500(0) 13,428(0)	7,500(0) 3,400(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
64	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	京朝スタイルの普及	「太陽が昇ったら起きて、沈んだら寝る」という自然のサイクルに沿った、京都発の、健康的で環境にもやさしい朝型のライフスタイルを推奨する取組である「京朝スタイル」の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)、千円 1,000(0) エ決算額(万円)、千円 1,000(0)	平成23(2011) ○事業実施(京朝スタイル月間の取組) ○朝講座の開設(9～10月) ○Facebook及びホームページでの朝に関する情報発信(7月～)	平成24(2012) ○見直し・充実 ○朝講座の開設(7～9月) ○京朝写真コンテストの開催(7～9月) ○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(7月～)	平成25(2013) ○見直し・充実 ○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(4月～)	平成26(2014) ○見直し・充実
65	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	多様なメディアを積極活用した普及啓発	印刷物への掲載や広報発表に加えて、インターネットやテレビなど、市民に広く浸透しているメディアを積極活用した普及啓発を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(万円)、千円 1,500(0) エ決算額(万円)、千円 1,500(0)	平成23(2011) ○実施中 市民しんぶん、テレビ、ラジオ、電光掲示板において実績あり。 ○実施 商業紙への環境関連広告の掲載及び京都市情報館への啓発情報の掲載を行った。	平成24(2012) ○実施 市民しんぶん、7月1日号1面(節電)、2月1日号8・9面(DD YOU KYOTO?)他。 ○テレビ 7月22日特集(クールスポット)、8月5日市政ニュース(エコマナー)他。 ○ラジオ 4月26日市政ニュース(太陽エネルギーの活用促進)、1月26日市長出演番組(エコトピア実録)他。 ○電光掲示板 環境月間や節電の啓発他。 ○映画 節電をテーマとした映像を約2箇月間上映他。 ○京都市情報館 トップページでの節電の啓発他。 ○きょうと動画情報館 (DD YOU KYOTO?)プロジェクトを紹介した動画を制作・配信。 ○京都市生活ガイドブック「暮らしのてびき」 (DD YOU KYOTO?)等について誌面で紹介他。 ○商業誌 節電の啓発他。	平成25(2013) ○見直し・充実 ○市民しんぶん 5月1日号16面(太陽光発電設備への助成)、6月1日号2面(省エネ・節電の専門家派遣)、8・9面(環境月間)他。 ○ラジオ 市政ニュース、PRスポット、市長出演番組で「DD YOU KYOTO?」節電「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○市民ニュース(ポスター版・テーブルテント版) ポスター版、テーブルテント版で「節電」「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○電光掲示板 環境月間や地球温暖化防止月間、節電等の取組紹介・啓発。 ○映画 「こみ減量」をテーマとした映像を約3箇月間上映。 ○商業誌(1月刊京都1) クールスポットの取組紹介。 ○京都市情報館 トップページでの節電の啓発他。 ○きょうと動画情報館 (DD YOU KYOTO?)を紹介した動画を制作・配信。 ○京都市生活ガイドブック「暮らしのてびき」 (DD YOU KYOTO?)等について誌面で紹介他。 ○商業誌 節電の啓発他。	平成26(2014) ○見直し・充実 ○京都市情報館Facebook版、Twitter [公式]京都市情報館Facebook版、Twitter 0(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
66	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「IDO YOU KYOTO?」に関する取組の推進	京都議定書が発効した2月16日を記念し、毎月16日を「IDO YOU KYOTO?デー」と定め、この日を中心にライドダウンやノーマイカーデーなど、環境にやさしい取組を市民や事業者とともに実践します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○IDO YOU KYOTO?プロジェクト万人推進事業  ○IDO YOU KYOTO?プロジェクト関連事業への参加者46,686人、協力229社 ○IDO YOU KYOTO?「ラッピングバス」の運行	○IDO YOU KYOTO?「プロジェクト関連事業協力251社」(※関連事業への参加者数は現在集計中) ○IDO YOU KYOTO?「ラッピングバス」の運行及び地下鉄への広告掲出 ○IDO YOU KYOTO?「ワークの実施」(2/11～2/23)	14,100(0)	14,100(0)	
67	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「大学のまち京都」学生のまち京都」の学生の力を活用したエコ活動の推進	人口の約1割に当たる学生が在籍する京都の特性を踏まえ、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用したエコ活動を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○大學生を対象としたエコ・ワークショップの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	○実施 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	1,000(0)	3200(0)	
68	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	エコドライブの推進	燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブについて、広く一般ドライバーへの普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施 ○京都学生祭典への支援を実施	○実施 ○京都学生祭典への支援を実施	5,500(0) 5,500(0)	5,500(0) 5,500(0)	
						計画	○エコドライブ推進事業	○エコドライブ推進事業			
						イ進捗状況	○エコドライブ教室の開催(11月, 3月)	○エコドライブ教室の開催(11月)	○市内教習所でのエコドライブ講習(委託)	4418(0)	3841(0)
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	7,011(0) 6,587(0)	6,975(0)	4,418(0)	3,841(0)	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
69	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	農林水産物の地産地消と「京の待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及	旬の時期を待って地元食材を食べる「京の待ち食」の普及や、環境に配慮しながら「買い物」「料理」「片づけ」を行うエコキッチンなどの取組を通して、食材の生産・輸送・調理に使用するエネルギー量を削減し、環境負荷の小さい食生活の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○森と海と暮らしの連携プロジェクト、京の食文化普及啓発事業 ○京エコロジーセンターにおけるエコックキングの開催(18回) ○鴨川の天然アユの遡上数の確認(20,000尾) ウチ予算額(うち国)千円 158,372(0)の一部 国・道予算額(うち国)千円 158,372(0)の一部	○見直し・充実 ○京エコロジーセンターにおけるエコックキングの開催(35回) ○京エコロジーセンターにおけるエコックキングの開催(30回) 149,338(0)の一部 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部		
						計画	○森と海と暮らしの連携プロジェクト、京の食文化普及啓発事業 ○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の待ち食」の啓発を実施(4月～) 167,500(167,500) 159,599(159,500)	○見直し・充実 ○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の待ち食」の啓発を実施(4月～)		5,000(5,000)
70	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	歩行空間や自転車利用環境の整備	地球温暖化対策だけでなく、観光振興や健康面のサポートという観点から、徒歩や適正な自転車利用を推進するための環境の整備を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都一周トレイル運営など ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月) ウチ予算額(うち国)千円 3,100(0) 国・道予算額(うち国)千円 3,100(0)	○見直し・充実 ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※東山コース・西山コースの道標の英文表記化の実施 2,600(0) 2,600(0)		2,600(0)
						計画	○自転車等駐車場の整備 ○自転車通行環境の整備 ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 ・12箇所797台 ・無料駐輪場の有料化再整備 ・1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 ・1箇所141台(平成24年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・自転車通行環境整備プログラム(案)の作成 28,000(0) 26,751(0)	○見直し・充実 ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 ・10箇所554台 ・無料駐輪場の有料化再整備 ・1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 ・1箇所57台(平成25年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・御池通(御池大橋西詰～堀川通)詳細設計着手 ・烏丸通(丸太町通～御池通)工事 ・七条通(大宮通～千本通)詳細設計 114,000(39,450) 52,610(12,340)	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 ・10箇所593台 ・無料駐輪場の有料化再整備 ・2箇所3,346台 ○自転車通行環境の整備 ・七条通(大宮通～千本通)工事着手	250,200(94,700)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
71	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	子どもへの環境教育の推進	子どもの夏休みや冬休みなどを活用して、家族ぐるみで省エネに取り組んでもらう。子どもエコライフチャレンジや、学校のエコスクーリングなどの取組を通して、将来を担う子どもたちへの様々な環境教育を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 21,247(0) 20,511(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 20,356(0) 19,904(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 20,856(0) 22,356	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 20,856(0) 22,356
72	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	総合環境情報作成・全戸配布	地球温暖化対策の相点を盛り込んだ総合環境情報誌を作成し、全戸配布を行うことにより、市民一人ひとりの意識啓発を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 3,550(0) 2,889(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 999,100千円 79,695千円 440,754千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 1,025,200千円 45,000千円 332,700千円	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 1,175,200千円 164,000千円
73	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	京エコジーンセンターを中心とした学習の展開と人材育成	COP3開催の記念館である京エコジーンセンターを中心として、エコ学習を展開することにより、地球温暖化対策に対する意識の向上を図ります。また、京エコジーンセンターのボランティア活動を通して、環境問題に主体的に取り組む市民を育てていきます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 148,338(0)の一部 152,577(0)の一部	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 152,577(0)の一部 38,800(0)
74	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設	地域活動の基本単位である学区や商店街を対象に、地球温暖化対策を地域ぐるみで集中的に取り組む「エコ・コミュニティ」を新たに創設するとともに、京都市の人口の約1割に相当する学生の力を活用した温室効果ガス排出量削減の取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 29,300(0) 25,487(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 29,300(0) 26,893(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 44,100(0) 38,800(0)	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 ニ決算額(うち国)千円 44,100(0) 38,800(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)					
75	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	各区におけるエコ活動支援事業の推進	各区の環境パートナーシップ事業など、各区におけるエコ活動支援事業を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 7,000(0) エ決算額(うち国)千円 6,629(0)	平成23(2011) ○各区環境パートナーシップ事業など ○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(5月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(5月～3月)	平成24(2012) ○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(4月～)	平成25(2013) 平成24年度をもって事業終了	平成26(2014) 平成24年度をもって事業終了					
76	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	既存住宅における省エネ改修の支援拡充の検討	自ら居住する住宅のエコリフォームを行う費用について、金融機関と連携して、低利率で融資をあっせんするなどの、既存住宅を対象に、省エネ改修に対する支援の拡充を検討します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 45,000(0) エ決算額(うち国)千円 37,400(0)	○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月～) ○融資件数:17件	○実施 ※エコリフォーム推進事業など ○京都市との協調により、融資件数の拡大、融資限度額の増額、融資利率の通年固定化、対象用途の拡大(4月～) ○融資件数:68件	○エコリフォーム融資の実施(4月～) ○融資件数 47件 ○既存住宅の省エネリフォーム等支援事業 142,400(54,000)						
77	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	省エネ住まいの省エネアドバイザー制度の創設	住宅の省エネ改修について、技術的なアドバイスを行える人材を養成するとともに、京都府、市民が安心して住宅の省エネ改修に関する技術的な相談を行える環境を整えます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国)千円 17,132(0) エ決算額(うち国)千円 17,132(0)	○創設 ○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」を設置し、今後の実施体制等について協議。 ○「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催(16名参加) ○「家庭の省エネ相談所」を開設(21箇所1,297名相談)	○創設 ○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件)	○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件)	京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進費 17,132(0)の一部	○すまいよらず相談における相談業務を実施(4月～) ○同制度の実施に向けた情報収集	○すまいよらず相談におけるリフォームに関する相談業務の実施(4月～)	既存住宅の省エネリフォーム等支援事業 142,400(54,000)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
78	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	家庭における省エネ診断の拡充	省エネの専門家が専用のツールを用いて、各家庭の二酸化炭素排出状況を「見える化し、削減余地の大きいものに対して集中的に対策の提案を行うなど、各家庭の様々なライフスタイルに応じたオーダーメイドの対策を実施し、確実な二酸化炭素削減を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○検討 ※環境家計簿はインターネット版で継続 (インターネット版環境家計簿) ○①企業やグループ単位での取組を促進するため②お試し機能を追加し、気軽に取組みやすくするため、インターネット版環境家計簿の改良を実施 ○うちエコ診断を低炭素のモデル地区「エコ学区」事業の一部として実施	○実施 ○インターネット版環境家計簿の継続実施 ○うちエコ診断を「エコ学区」事業として実施	○インターネット版環境家計簿の継続実施 ○うちエコ診断を「エコ学区」事業として実施	0 0
79	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	省エネラベル制度の拡充の検討	現在、エアコン、電気冷蔵庫・テレビ・蛍光灯照明器具・電気便座の5種類の家電製品を対象としている省エネラベル制度の拡充を検討します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前	計画 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○検討 検討中	○対象の拡大 ○国の省エネラベリング制度(8種)等の普及・啓発	○国の省エネラベリング制度(8種)等の普及・啓発	
80	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	既存住宅の環境配慮性能を表示する制度のあり方の検討	既存の住宅に対して、環境配慮性能を表示する制度のあり方を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	○検討※CASBEE京都と住宅性能評価制度との整合を図る ○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会の開催を検討 20,634(0)の一部 20,634(0)の一部	○実施 ○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催 ○平成24年度からCASBEE京都(戸建・既存)を開始 京のアジェンダ21フォーラム推進 17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進 17,132(0)の一部	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催 京のアジェンダ21フォーラム推進 17,132(0)の一部 京のアジェンダ21フォーラム推進 17,132(0)の一部	0 0



整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
81	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立	京都府・経済界・市・市・経済界の枠組を超えた「オール京都」による体制構築、健康、映画・コンテンツをはじめとする次世代を担う成長産業の育成を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○「京都産業育成コンソーシアム」の設立 ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「さようぞ産業人材育成情報サイト」をHPに開設(7月) ○「知恵産業支援策ガイド」をHPに開設(1月) ○「人材育成・活用セミナー」(11月)、「知恵産業推進セミナー」(1月)を実施	○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月)	○「京都産学公連携機構」の事務局長をコンソーシアム内に設置(4月) ○京都知恵産業支援共同事業の立ち上げ(4月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(6月) ○京都産業エネルギー戦略部会設立(7月) ○機器活用オープンデ(8月)、活用機器見学会(8月、3月) ○機器活用HP開設(10月) ○「知恵ビジネスサツゼ」(京都商工会議所主催)を共催(11月)	4,000(0) 4,000(0)	4,000(0) 4,000(0)	
82	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興	「環境ナノテクノロジー」をテーマに各種事業に取り組んできた京都環境ナノクラスタ事業の成果を生かし、ベンチャー企業の創出や技術移転による事業化の促進を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○「京都環境ナノクラスタ事業」の創設 ○「京の環境みらい創生事業」の創設 ○現在の研究成実の課題と今後の方向性を検討(4月～3月)	○平成20～24年度の事業期間において、目標とする75億円を上回る売上高104.6億円を達成。 ○圧倒的省エネルギーを実現するSiC MOSFETの開発とSiCデバイスの量産の実現 ○高感度・高耐久・高耐熱性を持った化合物半導体紫外線センサの開発	○二酸化炭素のエネルギー利用等を実現する「京都次世代エネルギーシステム創設戦略」が文部科学省公募事業の「地球イノベーション戦略支援プログラム」に採択。平成25年8月から事業開始。 ○革新的SiCパワー半導体の社会実装の促進を目指す「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」をJST公募事業の「スーパークラスタープログラム」に申請し、平成25年12月から事業開始	643,500(580,000)(市負担額:41,500)	626,100(562,600)(市負担額:41,500)	地域イノベ:219,473 (182,523) (京都市負担:29,000) スーパークラスタ:315,000(315,000)
83	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	付加価値の高い新産業を創出する京都SBIRの推進	新技術・新製品開発に取り組み市内中小事業者や中・小・ベンチャー企業の新技術を利用した事業活動を支援するため、京都の地域ブランチ・オープン・イノベーションの強みを生かした研究開発支援から販路開拓までを一貫して支援する仕組み(Small Business Innovation Research)を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○「京都産学公連携機構」の事務局長をコンソーシアム内に設置(4月) ○京都知恵産業支援共同事業の立ち上げ(4月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(6月) ○京都産業エネルギー戦略部会設立(7月) ○機器活用オープンデ(8月)、活用機器見学会(8月、3月) ○機器活用HP開設(10月) ○「知恵ビジネスサツゼ」(京都商工会議所主催)を共催(11月)	○研究開発補助事業:5件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:5件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定8社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定8社(9月、2月)	○研究開発補助事業:6件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定9社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定11社(8月、3月)	地域イノベ:183,400(147,000) (京都市負担:29,000) スーパークラスタ:315,000(315,000)	地域イノベ:124,284(0) 129,147(0) 124,248(0)	地域イノベ:102,073(0) 108,903(0)

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
84	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	低炭素社会の実現に先導する環境先進産業(環境エネルギー関連産業)のブランド化	低炭素社会の実現に先導的な役割を果たす京都の環境先進産業(環境エネルギー関連産業)のブランド化を図ることを目的に情報発信を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○調査・実態把握 ○調査委託業者の選定に向けた事業内容検討(4月～) ○プロポーザルによる委託業務受託業者選定・委託契約締結(11月) ○試行アンケートの実施・環境産業マップ作成・委託業務完了(3月)	○プロモーション ○調査報告(23年度)を踏まえ、今後の事業内容の検討	○京都企業グリーンイノベーション市場参入支援事業:8件採択(8月) ○グリーン産業創出調査事業委託事業者決定(7月) ○市・府・経済界で設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」において、環境保全に係る製品開発等に対する補助事業の実施 ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)	15,000(0)
85	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	カーボン・フットプリントの活用による環境価値の見える化の促進	原材料の調達から製造、輸送、消費後の廃棄に至るまでの過程で、電力や燃料の消費などを通してその商品が排出する温室効果ガスの量を算出して表示するカーボン・フットプリントの活用により、環境価値の「見える化」と低炭素商品の普及を促進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○検討 ○検討中	○実施 ○カーボン・フットプリントの活用等による環境価値の見える化と低炭素商品の普及促進について検討	○実施 ○京都市website上で、カーボン・フットプリントの活用等による環境価値の見える化と低炭素商品のページを作成し、普及を促進している。	
86	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	グリーン購入の促進	製品やサービスを購入する際に、環境への負荷が少ないものを選んで購入するグリーン購入について、事業者としての京都市が率先して取り組みます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○市役所本庁舎 区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎 区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎 区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	0
87	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	高効率機器の導入に対する補助	中小事業者の地球温暖化対策と省コストによる経営基盤強化を実現する高効率機器の導入に対する補助を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○省エネ診断の提案に基づいた省エネ及び節電に寄与する設備導入を行う事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンニューデール基金活用補助金:4件	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ及び節電に寄与する設備導入を行う事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成(4月申請受付開始) ・省エネ・節電設備整備事業補助金交付決定件数:12件	○中小企業が省エネ・節電診断にもとづき行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電を推進する。(省エネ・節電設備導入補助:8件)	18,000(0) 18,000(0) 27,640(0)
						計画	○実施 ○中小事業者を対象に、省エネ・節電アドバイザーが事業所を訪問し、省エネ及び節電の取組の「気づき」や「きつかけ」を与え、きめ細やかな支援を実施。 ○中小事業者を対象に省エネ・節電設備、再エネ設備導入費用の一部を補助。	○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	24,500(0) 10,356(0) 6,500(0)	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画 ウチ算額(うち国),千円 市法算額(うち国),千円	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)				
88	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	環境配慮活動に対する低利融資	環境に配慮した事業活動を行う事業者に対する低利融資制度の充実を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 進捗状況 ウチ算額(うち国),千円 市法算額(うち国),千円	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績:2件(継続)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績:2件(継続)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績:1件(継続)	25,379(0)				
89	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	低炭素型経済活動を推進する人材育成と助言・診断の仕組みの充実	KESなどの環境マネジメントシステムの取組を促進するアドバイザーの派遣や、低炭素型経済活動を推進する人材の育成を図るセミナーを開催するとともに、「省エネ診断事業」をはじめとする事業者への支援の充実を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 進捗状況 ウチ算額(うち国),千円 市法算額(うち国),千円	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○市内の中小事業者を対象に省エネアドバイザーを派遣 ○市内の中小事業者を対象に省エネに関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案 ○市内事業者の経営者・施設管理責任者等を対象とした省エネに関するセミナーを開催 開催日:1/27(木) 受講者数:28名	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○市内の中小事業者を対象に省エネ・省エネアドバイザーを派遣し、事業者が抱える潜在的な省エネルギーや節電の問題を明らかにするとともに、その問題の解決に取り組みむべき方策などのアドバイスを実施(72件) ○市内の中小事業者を対象に省エネ及び節電に関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案する。(30件)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○省エネ・節電アドバイザーが主に民生・業務部門事業所を訪問し、事業所に応じた最適なアドバイスをを行うことで、事業者が「省エネ」や「省エネ」を与えるとともに、省エネ・節電に関する様々な制度等についての情報提供を実施。 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、アンケート・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	41,696(0) 4,791	省エネ・節電診断:6,500(0) 省エネ・節電アドバイザー:2,700(0)	省エネ・節電診断:6,500(0)		
90	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	ノンフロン製品(業務用冷蔵庫・冷凍機器など)の普及促進	強力な温室効果ガスである代替フロンを冷媒として使用しない業務用冷蔵庫・冷凍機器など、低炭素化につながる機器の優先導入に関する普及啓発を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 進捗状況 ウチ算額(うち国),千円 市法算額(うち国),千円	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○ノンフロン製品の普及促進について検討	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○ノンフロン製品の普及促進について検討	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○地方税改正によりノンフロン製品の固定資産税の軽減措置が決定。 ○京都市website上で、ノンフロン製品の普及促進のためのページを作成。	省エネ・節電診断:6,500(0) 省エネ・節電アドバイザー:2,700(0)	省エネ・節電診断:6,500(0)	省エネ・節電診断:6,500(0)		
91	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	事業者排出量削減計画書制度における総評価制度の導入と低評価の場場の追加削減対策	特定事業者に作成及び提出を条例により義務付けている事業者排出量削減計画書制度において、排出削減量(率)、エネルギー効率改善、削減対策の取組内容、低炭素型社会の形成に貢献する製品・サービスの供給など、事業者活動の低炭素化に向けた取組を総合的に評価し、自主的な排出削減の更なる促進を図ります。 また、削減対策が不十分な低評価の特定事業者に対しては、クレジットの購入によるカーボン・オフセットの実施を促すなど、追加削減対策の指導助言を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 進捗状況 ウチ算額(うち国),千円 市法算額(うち国),千円	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 ○義務制度の開始 ・事業者排出量削減計画書の受理(～9月末) ・削減計画書の総合評価の実施、公表(3月) ・低評価事業者への訪問調査、エネルギー使用の合理化に資する措置等を指導・助言(15件,3月)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理(平成23年度の目標値約181万トン(特定事業者147者の合計)に対し、約176万トンの実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理(平成24年度の目標値約181万トン(特定事業者149者の合計)に対し、約173万トンの実績)	62,940(0) 7,300(0)	63,809(0) 5,600(0)	省エネ・節電診断:6,228(0) 省エネ・節電診断:6,227(0)	省エネ・節電診断:7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度:7404(0)	省エネ・節電診断:7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度:10,000



整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
96	1. そもそもごみを減らさない	すぐにごみになるものを「買わない」「つくらない」	NOレジ袋の全市展開	市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組を全市展開します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○レジ袋削減パネルディスプレイの開催(10月) ○容器包装材が少いお買い物の新聞広告(3月)	○包装材料の少ない売場を試行する「エコストア実験」を実施(2月～3月)	平成24年度をもって事業終了	
					ウ字算額(うち国)千円 7,700(0) エ字算額(うち国)千円 2,629(0)	6,300(0) 6,292(0)	0 0	0 0	
97	1. そもそもごみを減らさない	すぐにごみになるものを「買わない」「つくらない」	レジ袋削減協定の拡大	レジ袋の使用を抑制し、マイバッグなどの持参を促進することを目的とした事業者、市民団体などとの協定の締結をさらに拡大し、レジ袋の大幅な削減を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○第6回レジ袋削減協定の締結(9月)	○第7回レジ袋削減協定の締結(6月)		
					ウ字算額(うち国)千円 0 エ字算額(うち国)千円 0	0 0	0 0	0 0	
98	1. そもそもごみを減らさない	すぐにごみになるものを「買わない」「つくらない」	ごみの減量と商店街の活性化を目指す「エコ商店街事業」	はかり売りやはだか売り、対面販売といった販売方法や、商店街の持つ地域力を活用し「エコ商店街事業」を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャンペーン(11月、2月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャンペーン(7月28日)、エコチケット事業(11月～)、エコチケットキャンペーン(3月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街での「きたの夏まつり」での啓発活動(7月28日)、エコチケット事業(11月～)、エコチケットキャンペーン(3月)	200(0) 1,883(0)
					ウ字算額(うち国)千円 1,700(0) エ字算額(うち国)千円 1,700(0)	2,000(0) 1,962(0)	1,700(0) 1,700(0)	1,883(0) 1,883(0)	
98	1. そもそもごみを減らさない	すぐにごみになるものを「買わない」「つくらない」	ごみの減量と商店街の活性化を目指す「エコ商店街事業」	はかり売りやはだか売り、対面販売といった販売方法や、商店街の持つ地域力を活用し「エコ商店街事業」を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○出町柳商店街におけるエコスタンプ事業(通年実施) ○三条会商店街においてワークショップを実施(第1回:9月、第2回:11月、第3回:3月)	○三条会商店街における古紙共同回収事業を実施(5月～ダンボール、新聞、雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約200kg) ○三条会商店街における古紙共同回収事業を実施(ダンボール、新聞、雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約300kg)	○三条会商店街における古紙共同回収事業を実施(ダンボール、新聞、雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約300kg)	15,123(千円)の一部 15,123(千円)の一部
					ウ字算額(うち国)千円 21,555(千円)の一部 エ字算額(うち国)千円 20,147(千円)の一部	18,790(千円)の一部 16,668(千円)の一部	17,340(千円)の一部 16,668(千円)の一部	17,340(千円)の一部 15,123(千円)の一部	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
99	1. そもそもごみを減らさない	事業所などから出るごみを減らす	事業者収集ごみの透明袋の導入	資源ごみの分別、資源化と、ごみの適正排出を推進するため、京都市のごみ処理施設に搬入されるごみを対象に、民間業者(一般廃棄物許可業者)が収集するごみ袋を透明袋に限定する制度を導入します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○実施 ○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼り、収集しないよう許可業者に指示 ○クレーンセンターにおける展開調査を実施 (3月末現在、展開調査14回及び簡易目視調査18回実施)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 ウチ算額(うち国)千円 21,555(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 20,147(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 18,790(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 16,668(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
100	1. そもそもごみを減らさない	事業所などから出るごみを減らす	チェーンストアなどへの事業系廃棄物の減量計画の制度の対象拡大	事業用大規模建築物の所有者を対象に義務付けている事業系廃棄物の減量計画制度を、一定規模の食品関連事業者にも対象範囲を拡大し、幅広い指導を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○対象拡大 ○対象となる食品関連事業者(44事業者838事業所)から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施 (3月末現在19事業者を訪問)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 ウチ算額(うち国)千円 2,438(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 1,743(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 2,000(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 1,271(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 2,800(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 1,700(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 1,700(千円)の一部
101	1. そもそもごみを減らさない	事業所などから出るごみを減らす	事業者収集ごみ処分手数料の改定	ごみの減量や再資源化を促すため、ごみ処分手数料の段階的引き上げを進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	○改定 ○800円/100kgに引き上げ(4月～)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 ウチ算額(うち国)千円 0 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 0

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
102	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向け情報の提供の推進	ごみ減量に向けた事業者の具体的な取組方法などを分かりやすく情報提供します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(3月末現在1,397件) ○分別啓発パンフレットを活用した啓発を実施 ○三条会商店街においてワークショップ(第1回:9月, 第2回:11月, 第3回:3月) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回:7, 9, 11, 1, 3月発行)	計画 ○実施 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(2,025件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(4回:7, 9, 11, 1月発行)	計画 ○実施 ○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(1,257件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
103	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と未分別着源ごみ及び不適物の受入拒否の実施	クリーンセンターにおいて搬入監視を強化するとともに、分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	計画 ○実施 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	計画 ○実施 ○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
104	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	使用済てんぶら油などの回収拠点拡大	バイオディーゼルの原料となる使用済てんぶら油の回収拠点の拡大を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大 ・1,647拠点 40,500(千円) 34,317(千円)	計画 ○実施 ○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大 ・1,686拠点 33,600(千円)	計画 ○実施 ○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大 ・1,759拠点 27,100(千円)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
105	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	多様な資源物回収拠点拡大	土・日も開設する「より近い、より便利な」常設の着源物回収拠点の設置・拡大や、公共施設や商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル※30などのリサイクルの推進を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○資源物回収拠点数(てんぶら油, 蛍光灯など)3品目以上の資源物を回収する拠点101拠点 ○小型家電34品目回収拠点47拠点 199,807(千円) 21,795(千円)	計画 ○実施 ○資源物回収拠点数(てんぶら油, 蛍光灯など)3品目以上の資源物を回収する拠点117拠点 ○小型家電34品目回収拠点46拠点 193,316(千円)	計画 ○実施 ○資源物回収拠点数(てんぶら油, 蛍光灯など)3品目以上の資源物を回収する拠点120拠点 ○小型家電34品目回収拠点46拠点 30,500(千円)	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
106	2. ごみは資源、可能な限りサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	地域ぐるみのごみ、落ち葉などの堆肥化の推進	農家と連携したごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築や、学校や公園の落ち葉、家庭からのごみなどの地域単位の堆肥化を促進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○生ごみの堆肥化支援 京北宇津地域(9月～)、京北山国地域(21年2月～) ※その他、2地域で協議中  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 11,142(0) エ字算額(うち国)千円 4,065(0)	計画 ○実施 ○地域での堆肥化活動支援56件  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 17,500(0)の一部 エ字算額(うち国)千円 8,093(0)の一部	計画 ○実施 ○地域での堆肥化活動支援53件  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 14,200(0)の一部 エ字算額(うち国)千円 8,093(0)の一部	計画 ○実施 ○生ごみの堆肥化支援 新規:深草地域(6月～)、京北黒田地域(12月～)、大原地域(12月～)、大原野地域(2月～)、既存:2地域 ※その他、2地域で協議中  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 42,700(0)の一部 エ字算額(うち国)千円 24,939(0)の一部
107	2. ごみは「学生のまち、親光のまち」ならぬ、環境負荷を低減するごみの取組の推進	「学生のまち、親光のまち」ならぬ、環境負荷を低減するごみの取組の推進	エコイベント実施要綱によるイベントなどのエコ化	イベントグリーン要綱に基づき、学園祭や地域のイベントなどのエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバン(11月)  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 8,400(0) エ字算額(うち国)千円 5,930(0)	計画 ○実施 ○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～9月)  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 8,100(0) エ字算額(うち国)千円 7,234(0)	計画 ○実施 ○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～11月)  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 9,500(0) エ字算額(うち国)千円 9,500(0)	計画 ○実施 ○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～11月)  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 9,500(0) エ字算額(うち国)千円 9,500(0)
108	3. ごみは安全に処理して最大限活用	環境負荷を低減するごみの適正処理	ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営	ごみの減量に依りて現行の4工場体制のクリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画による施設の整備・運営を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 0 エ字算額(うち国)千円 0	計画 ○実施 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 0 エ字算額(うち国)千円 0	計画 ○実施 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 0 エ字算額(うち国)千円 0	計画 ○実施 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定  進捗状況 ウ字算額(うち国)千円 0 エ字算額(うち国)千円 0